

6つの成長戦略で 元気な秋田市に！

第12次秋田市総合計画の中でも、特に力を入れていく分野として6つの成長戦略(6～10ページ)を定めています。今年度予算では、引き続き元気な秋田市の実現をめざし、次の事業を行います。



中心市街地と太平山を望む

1 都市イメージ 「ブランドあきた」 の確立

芸術・文化・スポーツの振興を通して、にぎわい創出や秋田市のイメージアップを図り、市民が誇れる魅力あるまちづくりを進めます。予算額5億3722万円

【おもな事業】

- 【新規】第29回国民文化祭・あきた2014
▼開催は10月4日～11月3日。秋田市では、県内最多の12事業13イベントを実施します。今号の12・13ページに特集記事も掲載しています…2億4100万円



- スポーツホームタウンの推進▼市内のトップスポーツクラブの活動を支援します。今季からJ3のブラウブリッツ秋田の観客増員の取り組みへの補助も…876万円

- エリアなかいちを核としたにぎわいづくり
▼中心市街地でのまちづくりイベントへの補助を引き続き実施するほか、アキタ・ミュージックフェスティバルやアートによるまちづくりイベント、ウインターパークの開催を支援します…2617万円

- 中心市街地を「美術館の街」に▼県立美術館などと連携し、新たな芸術文化地区の活性化につなげます。千秋美術館では、MOA美術館名品展(4月26日～)や草間彌生展(7月11日～)などを開催…3558万円

- 中心市街地への出店をサポート▼融資あつせん・補助制度により、商店の出店などを促進し、空き店舗の解消を図ります
…1億8298万円

- 文化財イラストマップ第6弾「泉・手形地区編」▼地域の文化財や周辺文化施設を紹介する地図を、市民協働で作ります。発行は平成27年3月の予定…141万円

2 地域産業の 競争力強化

中国やロシア沿海地方に近接し、地理的に好条件なことや、豊富な農業資源、環境・エネルギーなど、秋田市の潜在能力を引き出し、地域産業の競争力を高めます。予算額48億9584万円



【おもな事業】

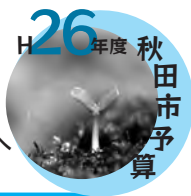
- 中小企業の金融対策▼経営基盤を強化するため、金融機関に融資原資を預け、信用保証協会の信用保証付きの長期・低利の融資あつせんを行います…42億6294万円

- 秋田港の利用拡大を支援▼国際コンテナ貨物の取り扱い増加に向けた支援を行います。また、新たな航路を誘致するため、県や民間団体と連携し、韓国やロシアなどでポートセールスを行います…3417万円

- 6次産業化を支援
・人材を育成▼6次産業化に取り組む人材や地域のリーダーを育成する研修などを実施します…765万円

- ・上新城地区と秋田ノーザンハピネットが取り組む新たな農業経営モデル▼地域と連携して給食用食材などの生産や農産加工品の開発を行います…1708万円

* 6～10ページの説明文の【新規】は、今年度から実施する新規事業です。



次のページへつづく

これってなあに

スポーツホームタウン

▶秋田市に拠点を置く、サッカー、バスケット、ラグビーのトップスポーツクラブが地域に根ざした存在となり、スポーツを核としたまちの活性化をめざします。

6次産業化

▶農畜産物や水産物などの生産(1次産業)と加工(2次産業)、販売(3次産業)を合わせて行うこと。生産者の所得向上や雇用の創出につながることを期待されます。

園芸作物の振興

▶園芸作物とは、野菜・果樹・花きなどの農作物のこと。市では、農業活性化のため、特に生産に力を入れていくことにしています。

まちあるき観光

▶街の中に点在する観光スポットを歩いて回る観光のスタイル。街の伝統・文化・自然に直接ふれながら観光できるのが魅力です。



工事中の園芸振興拠点施設の一部



17歳の6次産業化プロジェクト

- 地域資源を活用した商品の開発・販売▼広報あきたでも紹介した、「17歳の6次産業化プロジェクト」で生まれた新商品(パスタ、おにぎり、お菓子など)は今秋販売予定！また、大学生によるお土産品の開発にも取り組みます：273万円
- 6次産業化に向けた取り組みを支援▼6次産業化の専任指導員を配置し、支援体制を強化します。また、農産品の加工施設や農家レストランの整備、商品開発などを支援します：1402万円
- 園芸作物の生産・販売を支援
- 仁井田の旧農業試験場跡地に園芸振興の拠点施設▼新規就農者の育成と園芸作物の生産拡大を目的に、研修棟、作業棟、パイプハウスなどを整備します：5億438万円
- 販路と流通の拡大▼園芸作物の新たな販路開拓など、流通拡大に向けた取り組みを支援します：215万円

3 観光あきた維新

- 生産基盤の整備を支援▼ピニールハウスの設置や、収穫機械の導入などの生産基盤整備を支援します：1806万円



観光資源の磨き上げと、新たな視点と柔軟な発想で独自性がある観光戦略を打ち出し、交流人口の増加を図ります。

予算額3億5277万円

【おもな事業】

- 観光プロモーション(竿燈を核とした県外でのPR)▼秋田市の認知度向上を図り、多くの観光客に来てもらうため、竿燈公演を中心にしたイベントやキャンペーンを首都圏などで実施します：2088万円



史跡秋田城跡歴史資料館(仮称)の完成図概要…寺内焼山の現在の秋田城跡調査事務所に展示スペース(延べ床面積324㎡)を増築し、新たに資料館として整備します。完成は平成28年3月の予定。

- 史跡秋田城跡歴史資料館(仮称)▼史跡の公開・活用拠点となる歴史資料館の建設工事を行います：1億5398万円
- まちあるき観光の推進▼まちあるきコースを案内する看板を中心市街地に設置します。看板は、海外からの観光客向けにハングルや中国語などでも表記します：290万円
- 【新規】国民文化祭の開催に合わせた誘客イベントなどの実施▼昨年のテストイネーションキャンペーンによるにぎわいを継続させるため、国民文化祭の開催に合わせ、県や県内の市町村と連携した事業を実施します：2236万円
- 動物園のにぎわいづくり▼ペンギンと写真を撮ったり、エサやり体験ができる、ふれあいスペースの設置など：711万円
- 如斯亭庭園の修復整備▼国指定名勝・如斯亭庭園の建物や、庭園の修復整備に着手します。また、整備後の一般公開に向けた勉強会を開催します：5344万円